

2016年9月1日

報道関係各位

**熊本出身の原田悠里さんと県内臨時災害 FM 局を
慰問し寄贈 CD 目録を贈呈
避難所ミニライブでは、笑顔と歌を届ける**

当協会は、8月30日および31日に、熊本県天草市出身の歌手原田悠里さんとともに熊本地震被災地域の臨時災害 FM3 局を慰問し、「2016 年度レコード寄贈事業」における寄贈 CD (各局 200 枚) の目録贈呈式を実施いたしました。

また、県内でも被害の大きかった御船町、益城町それぞれの避難所ではミニライブを開催し、原田さん自身のヒット曲「木曾路の女」「津軽の花」などの心を込めた歌声とともに、故郷の皆さんにエールを送りました。

みふねさいがiefエム



左より(レコ協)畑陽一郎理事・事務局長、原田悠里さん、御船町総務課 吉本敏治 課長、企画財政課 藤本龍巳 課長、企画財政課 細木芙美氏

御船町町内に防災行政無線がない為、刻々と変化する災害情報を地域に発信しようと開局

御船町スポーツセンター



避難所の方に加え、避難所外からも町民の方が駆けつけライブを楽しんだ

熊本シティエフエム



(中央) 松本富士男 社長

4月30日の臨時災害放送局閉局時は市民から「よくやった」の声が寄せられた



熊本シティエフエムの皆さんと

原田さんは生放送の番組に出演し、地元への思いと励ましの言葉を語った

ましきさいがいエフエム



(中央)益城町総務課 森田茂 課長

未だ地震の爪痕が残る益城町で、地域に寄り添う情報を発信

益城町総合体育館



アンコールの歓声と拍手に「私にできる事は歌で皆さんを励ます事」と応えた

何れの放送局からも、「今回の地震では避難所のみならず、多くの方が車中泊で避難され、その際にラジオをよく聞いていただき、音楽を流すことで、地域の方に元気を送ることができました。」などのお言葉をいただきました。

困難のなか、地域に寄り添い災害情報を発信し続けた災害放送局の皆さんのお話を受け、原田悠里さんは「まさか自分の故郷でこんなことが起きるとは思わなかった。私は歌で皆さんを励ますことしかできませんが、音楽を聴いていただくことで、少しでも和んでもらいたい」と、言葉を詰まらせながら思いを語られました。

この度寄贈いたしました音楽CDが、放送を通じて復興の一助となることを願いつつ、被災地の皆様のご健康と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人 日本レコード協会 広報部 丹野・見世
 TEL 03-5575-1305 FAX 03-5575-1314
 (e-mail) riajpr@riaj.or.jp